

輸送動向について(平成22年7月分)

平成22年8月

1. 輸送概況

今月は、中旬の記録的な大雨に伴い、広島・山口地区において線路冠水や土砂流入、また東北地方北部では線路の土砂流出が発生し、月全体では高速貨 270 本、専貨 4 本が運休となった。

荷動きについては、国内外の需要の増加に伴う企業活動の回復に加え、下旬には東日本を中心に記録的な猛暑となったことから清涼飲料水、家電製品等の季節商品の出荷が盛り上がりを見せ、自然災害の影響を受けたものの、月全体では前年を上回った。

コンテナ貨物は、自然災害の影響を強く受けた積合せ貨物が前年を下回ったものの、自動車部品、紙・パルプなどが前年を上回り、全体では前年比 104.5%となった。自動車部品は、前年の生産調整の反動により大きく増送となった。また、家電・情報機器は猛暑を受けてエアコン等が出荷好調となり増送となった。なお、農産品・青果物は、政府米の出荷により、平成 20 年 10 月以来 21 ヶ月振りに前年を上回った。

車扱貨物は、セメント・石灰石が前年を大きく下回り、全体では前年比 95.7%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,761	1,685	104.5%	6,828	6,478	105.4%
車 扱	745	779	95.7%	3,074	3,060	100.4%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	117	115	2	101.7%
	化学工業品	176	170	6	103.5%
	化学薬品	131	128	3	102.3%
	食料工業品	298	297	1	100.3%
	紙・パルプ	276	258	18	107.0%
	他工業品	139	124	15	112.1%
	積合せ貨物	172	179	-7	96.1%
	自動車部品	74	55	19	134.5%
	家電・情報機器	42	36	6	116.7%
	エコ関連物資	28	30	-2	93.3%
	その他の	308	293	15	105.1%
コンテナ計	1,761	1,685	76	104.5%	
車 扱	石油	484	483	1	100.2%
	セメント・石灰石	100	123	-23	81.3%
	車 両	66	80	-14	82.6%
	その他の	96	94	2	101.6%
	車扱計	745	779	-34	95.7%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)